

令和3（2021）年度 事業計画書

（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

特定非営利活動法人赤城自然塾

1 事業実施の方針

赤城自然塾は、2010年の設立当初から①自然環境の保護・保全の推進、②これを実現する人材育成、そして、③自然環境活動等を通じた上下流域の交流促進を目標に掲げ、地域の皆さんとの連携を基本に赤城エリアにおいて様々な活動を展開してきました。

①の自然環境の保護・保全の推進では、森づくり事業として赤城南麓の松枯れ林地の再生を図る森づくり、そして、覚満淵をはじめとする赤城山の自然環境の保護・保全と持続可能な地域づくりを図るためにエコツーリズム推進法に基づく赤城山エコツーリズム推進全体構想を前橋市と連携して策定し、2018年に国から認定を受け赤城山の貴重な自然環境を保護保全しながら、その価値を有効活用する赤城山エコツーリズムを推進しています。

また、①の自然環境の保護・保全の推進を図る上で自然環境教育と指導者の育成が重要なことから、②の人づくり事業として赤城山環境ガイドボランティア養成講座を2010年からスタートさせ、この講座により養成されたボランティアガイドが赤城山の自然・歴史・文化・環境保護活動等の解説をボランティアガイド推奨の登山コース・ハイキングコースで行うことで、赤城山を安全に楽しみながら自然と人との関わりや環境について考えていただくきっかけづくりに取り組んでいます。また、2012年からスタートした赤城山検定では1級から3級まで併せて100名以上の合格者を生み、その合格者により赤城山急行バスでの赤城山ガイドが行われています。

さらに、こうした赤城山を中心にした自然環境活動を通じた都市住民との交流をより促進するため、2018年に観光庁が推進する観光地域づくり法人（地域連携DMO：Destination Management/Marketing Organization）に登録され、前橋市と桐生市から支援を受け赤城山の環境教育プログラムによるエコツーリズムや赤城南麓でのグリーンツーリズムなどを赤城山ツーリズムと称し、赤城山の自然環境を保護・保全しながら交流人口を増やし、赤城エリアの地域特性を活かした持続可能な観光地域づくりに取り組み、2019年度では、前橋市の進めるスローシティの概念も取り入れ、地域内で課題でもある二次交通対策としても活かすことができる自転車によるサイクルツーリズムにも着手し、赤城エリアの自然や歴史・文化・観光施設等をのんびりとe-Bike（高性能電動アシスト付スポーツ自転車）で楽しむことができる、AKAGI e-Bike コミュニティサイクルをスタートさせました。さらに、国内外からの誘客を図るため、特に外国人観光客向けではJNTO（日本政府観光局）と連携した情報発信やSNSを活用した情報発信を行うとともに、赤城エリア内での受入体制づくりをスタートさせました。2020年度では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため緊急事態宣言が発出され、東京オリンピック、パラリンピックが1年延期となるなど世界的に観光を取り巻く環境が大きく変化しましたが、従来 of 生活様式を見直し、国内外の人々との交流を安心して楽しめるよう地域が一体となって新たな生活様式に沿った受入

や、国・群馬県・前橋市・関係機関が示すガイドラインを遵守し、地域コンテンツの提供や造成を実証事業など行いながら取り組んできました。

2021年度では、これまで赤城自然塾が事業ドメインとしてきた、①森づくり事業（自然環境の保護・保全の推進）、②人づくり事業（環境教育と指導者の育成）、③上下流域交流事業（赤城山ツーリズム）を引き続き事業ドメインとして取り組みます。特に赤城山が持つ豊かな自然環境の保護・保全活動は継続して取り組むとともに、そうした取り組みが赤城山エコツーリズムにもつながる視点で進めます。併せてその受入体制づくりとしての人材育成を引き続き進め、赤城エリアの魅力を地域の方々が自ら発信する機会を増やす取り組みを進めます。上下流域交流事業では、2020年度に行った実証事業を生かしアフターコロナ時代を見据えた新たな生活様式による交流事業を展開して行きます。また、2019年度から取り組んできた赤城サイクル事業では、実施エリアをこれまでの前橋市、桐生市から赤城山を取り囲む前橋市、桐生市、沼田市、渋川市、みどり市、昭和村の5市1村に拡大させ、サイクルイベントの開催や受け入れ整備などを地域の事業者や関係団体等と連携して取り組んで行きます。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	従事者の予定人数	事業費の予定額(円)
森づくり事業（自然環境の保護・保全の推進）	<p>松枯れ林地再生事業として、以下の森づくりを実施する。</p> <p>【前橋市ぐんま緑の県民基金補助事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三夜沢森づくり（森の管理） ・西大河原森づくり（森の管理・森林環境教育） 	8月 6・7・11月	三夜沢町 富士見町 西大河原	2名	531
	<p>赤城山覚満淵の自然保護活動を行う「赤城山の自然保護活動推進協議会」の事務局を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤城山覚満淵の自然観察会 ・赤城山覚満淵の環境保全活動 ・赤城山覚満淵の開花調査・環境調査 ・赤城山覚満淵の鹿侵入防止柵管理 ・赤城山覚満淵の保全活動成果報告会 	4～3月	赤城山覚満淵	1名	赤城山の自然保護活動推進協議会事業

	<p>国から認定された赤城山エコツアーリズム推進全体構想を推進する「赤城山エコツアーリズム推進協議会」の事務局として、赤城山で実施されるエコツアーリズムを推進し、赤城山の自然・文化資源の保全と適正利用を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤城山エコツアーリズムの情報発信 ・エコツアーへの協力 	4~3月	赤城山山頂エリア	1名	赤城山エコツアーリズム推進協議会事業
	<p>あかぎ団森づくりの会主催の森づくりへの協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あかぎ団の森づくり 	4-9月	赤城国際カントリー隣接地	1名	0
	<p>国道353号清掃活動 (赤城げんき会議継承事業)</p>	7月	国道353号	2名	10
人づくり事業（環境教育と指導者の育成）	<p>赤城山ツアーリズム事業の中で、「赤城山環境ガイドボランティア事業」として実施する。</p> <p>①赤城山急行バスでの赤城山ガイド <中止></p> <p>②赤城山環境ガイドボランティア養成講座実践編</p> <p>③赤城山検定 1級・2級・3級</p> <p>④覚満淵自然観察会</p> <p>⑤赤城山環境ガイドの受託</p>	<p>①6~10月</p> <p>②5/1-2, 6/5-6, 8/21-22, 10/23-24, 2/5-6</p> <p>③6/12 10/2</p> <p>④6-10月</p> <p>⑤随時</p>	<p>①急行バス内</p> <p>②赤城山</p> <p>③前橋フラガ元気21</p> <p>④赤城山</p> <p>⑤赤城山</p>	<p>① 1名</p> <p>②③④ 各3名</p> <p>⑤ 2名</p>	赤城山ツアーリズム事業予算内に含む

上下流域 交流事業 (赤城山 ツーリズム)	<p><DMO推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ DMO事業のマネージメント、マーケティングの実施とその運営 ・ 観光メニューの開発造成、素材の掘り起し、地域住民や関係人口を巻き込む企画等の開発造成 ・ 関係事業者や地域住民などとの会議や協議会の開催 ・ 環境ガイドボランティアの養成やスキルアップ等の実施。受入環境整備（コースガイド・直通バスでのガイド実施等） ・ 地域資源とそこに係わる人々を掘り起こした観光情報誌の作成 ・ DMOスタッフ及び関係者のスキルアップ 	4~3月	赤城山エリア	6名	10,349
	<p><プロモーションサイト運営管理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 赤城山エリアに関する情報や受入体制情報を提供するHPを運営、また各種SNSの活用、動画制作などを通して国内外への情報発信、広報活動を行い、観光地域づくりを促進する。 	4~3月	赤城山エリア	6名	5,520
	<p><観光実証事業（インバウンド含む）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インバウンドを含めた地域ガイドの育成と商品化を図る。 ・ 赤城山の地域資源を活用したエコツアーを推進し商品化を図る。 ・ 地域内外での赤城山ツーリズムのプロモーションとサブカルチャーに特化したプロモーションの推進 ・ 赤城サイクルプロジェクト「赤城山広域連携サイクルツーリズム」を推進し、広域での受入環境整備やサイクルツアー等の実施、スタンプラリーや赤城山一周サイクルイベントの開催 	4~3月	赤城山エリアほか	6名	15,607

	AKAGI コミュニティサイクル事業 e-Bike のレンタル事業	4~3月	赤城エリ ア	2名	155
受託事業 受託事業	<p>県立赤城公園ビジターセンター等 施設管理委託業務の受託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジターセンター等の施設管理（電気、水道及び暖房設備の点検・検査、閉館後の館内の巡回点検、レクチャールームの予約受付、駐車場の管理） ・来館者対応（開館時間は、午前9時から午後3時45分） ・赤城公園キャンプ場を含めた各種問合せ対応 ・山頂付近の情報発信を週1回程度必ず行い、季節の情報をこまめに発信する。 ・登山道の管理として、年1回以上確認しその都度報告。 ・ビジターセンターを拠点にした自然観察会ガイドや自然保護・保全活動の実施 	4~3月	赤城山ビ ジターセ ンター	2名	5,300
受託事業	<p>前橋市観光地域おこし協力隊支援業務 の受託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤城自然塾事務局で活動を行う地域おこし協力隊員の管理業務 	4~3月	赤城山エ リア	2名	8,168
受託事業	<p>白樺牧場レンゲツツジ保護ボランテ ィア業務の受託</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白樺牧場内のツツジを保護するための除草等のボランティア作業業務 	9月	赤城山白 樺牧場	1名	100

